



定員140名
参加費
無料

ソーシャルインクルージョン横浜 を目指して ～福祉居住支援とまちづくり～

2023年 **11/19** 日 13:00 開場
13:30 開演

三共横浜ビル 3階 A+B 会議室

実施方法 会場参加

申込 Peatix、メール、FAX で受け付けます
E-mail : info@yokohama-shiseiren.jp
F A X : 045-263-8101

プログラム

13:30 ~ 13:50 主催者挨拶：市精連代表 大友勝 来賓挨拶：横浜市議員、横浜市

13:50 ~ 14:40 記念講演

演題：ソーシャルインクルージョンとは何か 講師：炭谷茂 元環境省事務次官 現(社福)恩賜記念財団済生会理事長、
ソーシャルファームジャパン理事長、かながわ人権政策推進懇和会会長等

14:50 ~ 15:50 トークセッション

セッション① 横浜市の居住支援・相談とサポート体制について

演者：窪田圭介 横浜市住宅供給公社 住まい・まちづくり相談センター長

セッション② 精神障害者にも対応した地域包括ケアと居住支援

演者：渡邊史郎 磯子区地域活動ホームいぶき施設長 横浜市精神保健福祉研究所企画委員

セッション③ 福祉居住支援とまちづくり

演者：持田昇一 居住支援法人(一社)生涯現役ハウス代表理事

15:50 ~ 16:50 パネルディスカッション

パネリスト：炭谷茂 窪田圭介 渡邊史郎 持田昇一

司会・進行：加藤彰彦 沖縄大学名誉教授 栄区田谷長生会会長

16:50 閉会の挨拶

お問合せ先：TEL 045-263-8100 横浜市精連

主催：(特非)横浜市精神障害者地域支援連合会

後援：横浜市健康福祉局、(社福)横浜市社会福祉協議会障害者支援センター、労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団
神奈川県本部、居住支援法人(一社)生涯現役ハウス横浜支部、(特非)横浜コミュニティデザイン・ラボ(以上、すべて調整中)

開催趣旨

障害者総合支援法の改正により、施設や精神病院からの地域移行、その人らしい居住生活に向けた支援の充実が打ち出されました。しかし現実には、障害者が民間の賃貸住宅に入居することは極めて困難であり、結果的に社会的入院や「定住型グループホーム」以外は選択肢がないのが現状です。本来であれば、高齢者対応グループホーム、民間賃貸住宅、公営住宅など、障害者のニーズに応じた多様な選択肢が準備されていることが強く望まれます。

一方、住宅セーフティネット法改正により、住宅確保要配慮者の入居を拒まない賃貸住宅登録制度など、民間賃貸住宅の空き家（横浜市内だけで 128,000 戸）を活用した「新たなセーフティーネット制度」がスタートしましたが、今日に至っても障害者を受け入れる住宅はきわめてまれな状況にあります。

また、改定障害者差別解消法においても住まいの問題は大きく取り上げられており、精神病院における長期入院、社会的入院の解消に向け、障害者を含めた多様な人々が暮らせるインクルーシブ（包摂的）なまちづくりはこれからの社会にとって必須であると思います。

横浜市においては、今年度より居住支援サポーター制度が創設され、入居支援・生活支援の整備が進んでいます。併せて精神障害者にも対応した地域包括ケアシステムと連携することで、障害者の地域移行、地域生活を支えるリソースとしてセーフティーネット住宅、居住支援サポーターの充実は、益々重要になってくると考えます。

こうした、国や横浜市の政策の動向を踏まえ、今回のフォーラムでは障害者をはじめとする多様な人々が、街の中、人の中で普通に暮らせるような「インクルーシブ横浜」への機運醸成を目指します。

皆様のご参加をお待ちしております。

事前申込方法

Peatix、メール、FAX で受け付けます。
参加申込書を記入し、この面を FAX してください。

メール：info@yokohama-shiseiren.jp
FAX：045-263-8101
<https://peatix.com/event/>



Peatix

三共横浜ビル
横浜市中区長者町 5-85
3 階 A+B 会議室



参加申込書

『ソーシャルインクルーシブ横浜を目指して ～福祉居住支援とまちづくり～

参加者名

※複数名での参加をご希望される場合は、全員の氏名を記載してください。

連絡先

〒

(自宅・勤務先)

TEL: _____

FAX: _____

E-mail: _____

勤務先名称

※いただいた個人情報は、本イベント以外の目的では使用いたしません。